

# 小学校だより

2024年  
2学期号

2024.12.20

Vol.  
157

## 楢小リュックはこうしてできました

(担当者インタビュー)

校長 相川 保敏

色とりどりのランドセルを背負って登校してくる子どもたちですが、一つ一つのランドセルを見るとデザインはもちろん、ランドセルカバーや飾りなど、自分らしさを表現しているように感じられます。しかしながら、体よりも大きなランドセルを背負い、サブバッグを持って登校している低学年を見ると、何とか荷物の負担を軽減したいという思いがよぎります。平成の終わりのころから、ランドセルの重さ問題が取り上げられるようになり、ランドセルや教科書の軽量化が検討されるようになりました。それぞれの努力により、以前より軽くなってきましたが、限界があるようです。



▲登校する子どもたち

こうした中で、本校でもランドセルに代わる「楢小リュック」の開発に取り組み、購入希望をいただいた方に十二月中旬よりご購入いただけるようになりました。試行錯誤を繰り返し、完成するまでに足掛け二年かかりました。実際に使用されているお子様の

評価はいかがでしたか。来年度の新一年生までは希望購入とし、令和八年度の入学から指定リュックとして活用していく予定です。

**Q** 楢小リュックを作るようになった理由は何ですか？  
**A** 今後はiPadを家庭に持ち帰り、学習により活用していくことを考えました。そのため登下校の際にランドセルがさらに重くならないよう、児童の負担軽減を目的に作りました。

**Q** どんなイメージをもって考え始めたのですか？  
**A** まず第一に、ランドセルより軽く、且つ同等の強度、容量を持ち、六年間使い続けられるリュックを考えました。

そして、児童が使いやすいようにポケットや金具の配置を工夫しました。さらに、公共交通機関を利用して登下校する児童が、荷物が少ない時に幅が狭くなるリュックにすることで、一般の方にも迷惑にならないようにしたいと考えました。

**Q** 第一号の試作品はいつ頃出来上がったのですか？  
**A** 令和五年十月末ごろに第一号ができました。第一号が完成する前に、素材やデザインなどの話し合いを業者と何度も行なったことで、楢山タータンチェックが生かされて、デザインには、問題がないように感じていました。

**Q** モニターを募集しましたが、そのねらいは何だったのですか？  
**A** 教員目線では、問題がなさそうに感じましたが、実際に登下校や家庭で使っていたことにより、課題が出てくることもあるだろうと考えました。児童が使いやすい、より良い物にするために実際に使ってもらって改善点を教えて欲しいと思いました。

**Q** モニターの方から、どんな声が上がりましたか？  
**A** 良い点  
デザインが良い。丈夫で軽いので、負担が少なくなった。思ったよりも容量がある。値段がランドセルよりもお手頃。

### 改善点

- 1 肩ベルトや体の前で固定するアジャスターの素材が滑りやすく、すぐに緩んでしまう。
- 2 入れるものが少ないと、中で物が動いてしまい歩きづらい。
- 3 ひっかけのフックが太すぎて、使いづらい。
- 4 時間割表を入れる部分がない。
- 5 ミマモルメを入れるところにも、フックがほしい。
- 6 肩ベルトのタータンチェックや反射板のすぐ下に携帯入れがあり、チェックや反射板が隠れてしまう。といったご意見をいただきました。

**Q** 具体的にどの点を改良したのですか？  
**A** ご意見をいただいた上記の①～⑥を具体的に次のように改良しました。



- 1 アジャスターの素材を滑りづらいものへ変更。その調整後、余ったひも部分が下に垂れないように工夫をした。
- 2 中で教科書等が動かないようにベルトを新しく着けて固定し、歩きやすくした。
- 3 フックを金属の細い物に変更した(補助バックと同じもの)。
- 4 素材や形状の関係から入れ込むのは難しい。
- 5 フックを新しく着けた。
- 6 チェックや反射板の位置を下げて、防犯ベル等で隠れないようにした。

**Q** 完成版が出来上がったのは、いつですか？  
**A** モニターの方々のご意見を聞き、改良を重ねて、最終的に教員間で相談して令和六年五月末ごろ完成しました。これからも使っていく中で、軽微な改良は重ねていく予定です。

**Q** このリュックをどのように活用していきたいと願っていますか？  
**A** iPadを入れる専用の場所があったり、容量に合わせてリュックの幅を変えたりできるので、日々の生活に合わせて活用してほしいと願っています。ランドセルそのものの重量や、その中に入れる教材でさらに重くなることで、背骨が曲がってしまったら、姿勢が悪くなったりしてほしくないという思いがあります。



ランドセルの重量が、学習に真摯に取り組む児童の健全な育成の妨げにならないよう、より軽量なこのリュックを活用してほしいと願っています。

重さ対策だけでなく、子どもたちが使いやすいように、安全に使っていただけるように様々な点を考慮して作ってきました。実際に使っていく中で、その良さを実感していただくとともに、気になる点があれば教えていただくと幸いです。なお、在校生で購入希望のある方は、中学校の購買部で令和七年四月からご購入できるようになります。

### 特集

## 秋の遠足

P.2  
P.3

委員会報告……………P.4

学期の行事……………P.5

学年トピックス……………P.6  
P.17

PTA……………P.18  
P.19

二期の思い出……………P.20